

VPA-08(2021)

実データを用いた frasyrによるVPA解析③ —資源量—資源量指標値間の 非線形性と全F推定—

- ・ b の推定
- ・ 全F推定



動画作成者 漁業情報解析部 濱邊昂平

(hamabek@affrc.go.jp)

おことわり

この研修はあくまでフィクションです

研修は実際にある資源のデータを基に行いますが、

研修の解析結果が実際の資源評価を反映するものではありません

また、解析しやすいように実際のデータから一部変更があります

あらかじめご承知おきください

研修の流れ

① [VPA-06] データの整理とVPAの実行

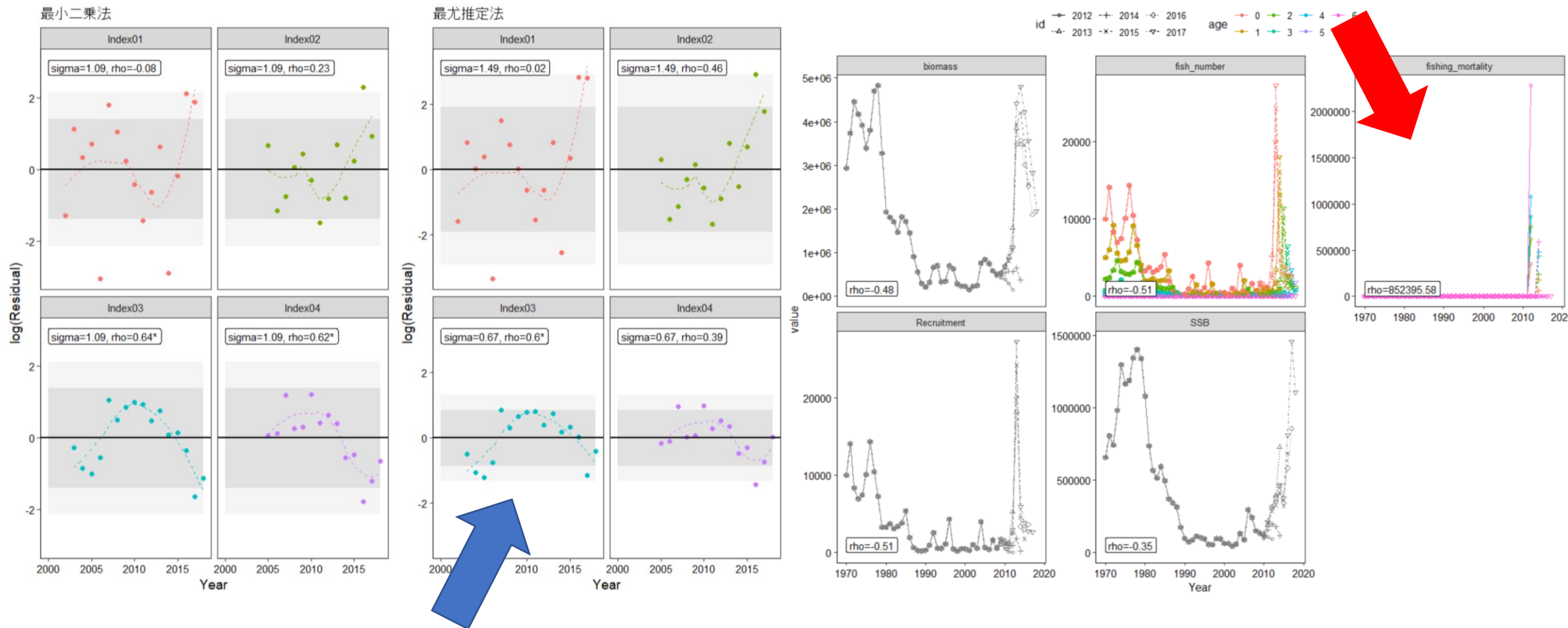
② [VPA-07] 最適化手法による推定結果の違い

③ [VPA-08] チューニングVPAの実行とモデル選択

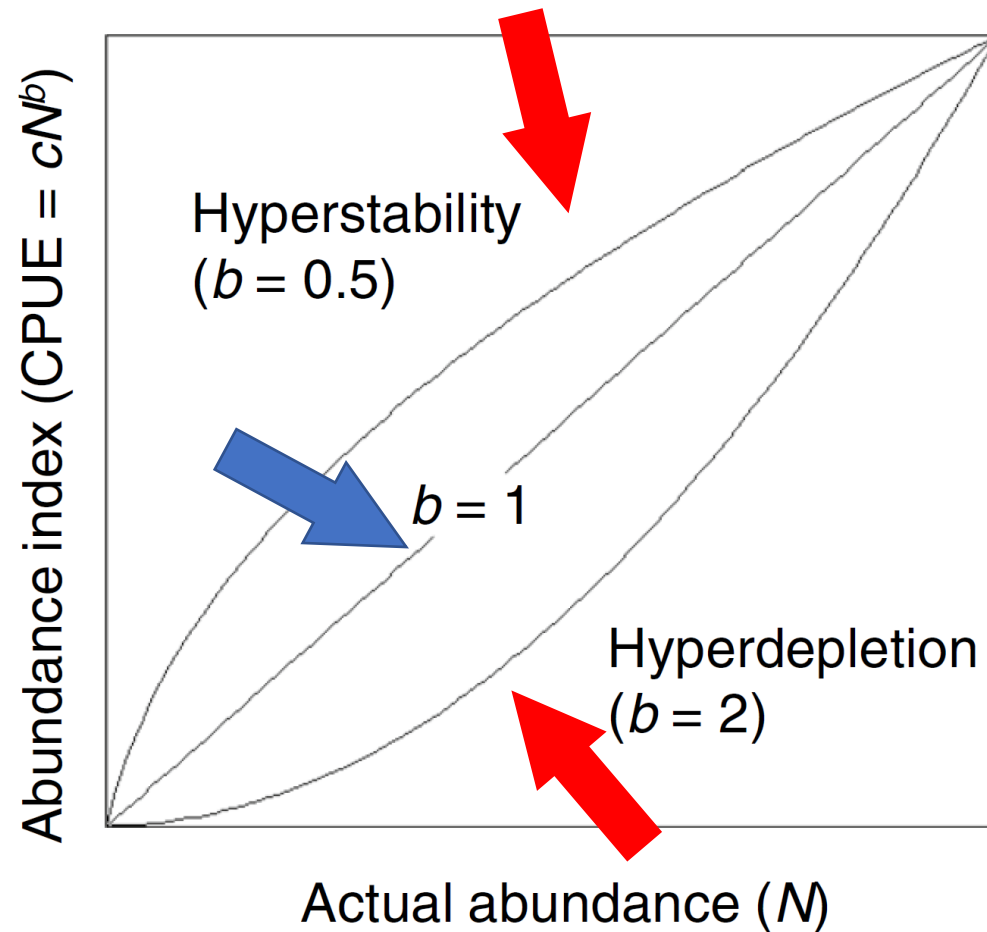
④ [VPA-09] より詳細なモデル診断

VPAとモデル診断をマスター！

前回の内容



資源量と資源量指標値の関係



Hashimoto et al. (2018)

frasyrの作図小話



○長所

- 見た目がカッコいい
- 作図結果をRのオブジェクトとして保存
- 作図データが整然(tidy)データ
- 後から、手を加えられる

●短所

- コードを覚えるのが大変
- tidyデータの作成が面倒